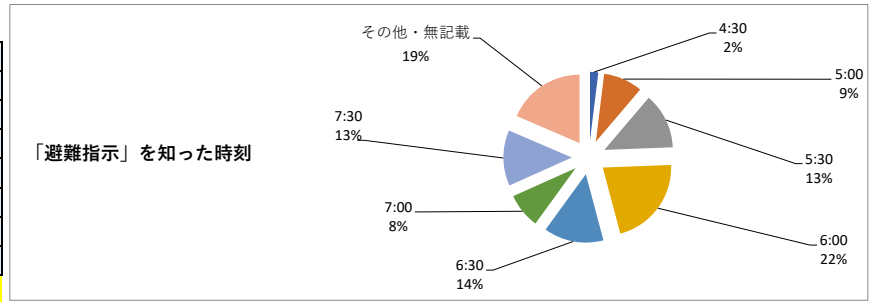


野村の未来を守る会 聞き取り調査 まとめ

「避難指示」を知った時刻

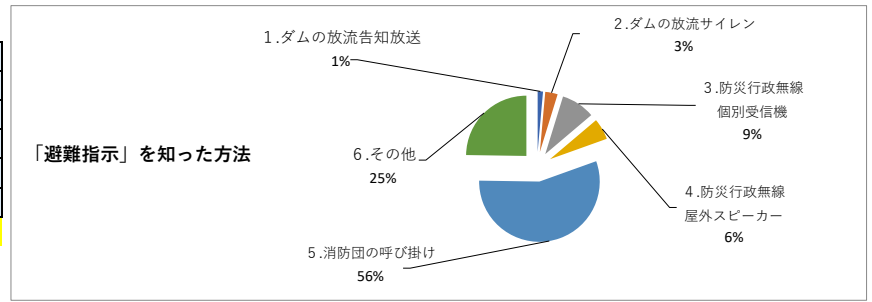
4:30	4
5:00	19
5:30	27
6:00	44
6:30	29
7:00	17
7:30	27
その他・無記載	38
(合計)	205



「その他」に寄せられた回答
 ●覚えていない ●自己判断

「避難指示」を知った方法

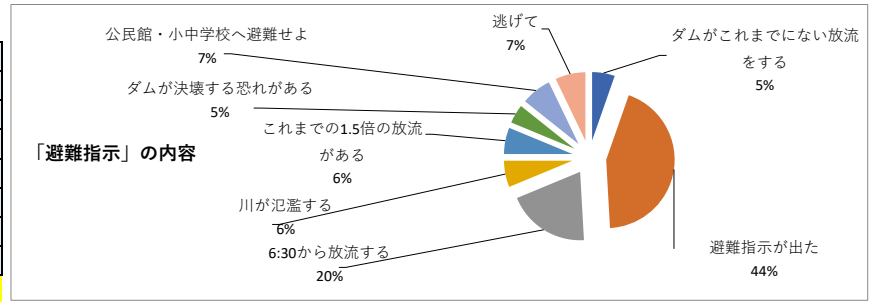
1.ダム of 放流告知放送	3
2.ダム of 放流サイレン	7
3.防災行政無線個別受信機	19
4.防災行政無線屋外スピーカー	12
5.消防団の呼び掛け	117
6.その他	52
(合計)	210



「その他」に寄せられた回答
 ●友人 ●家族 ●自己判断 ●SNS

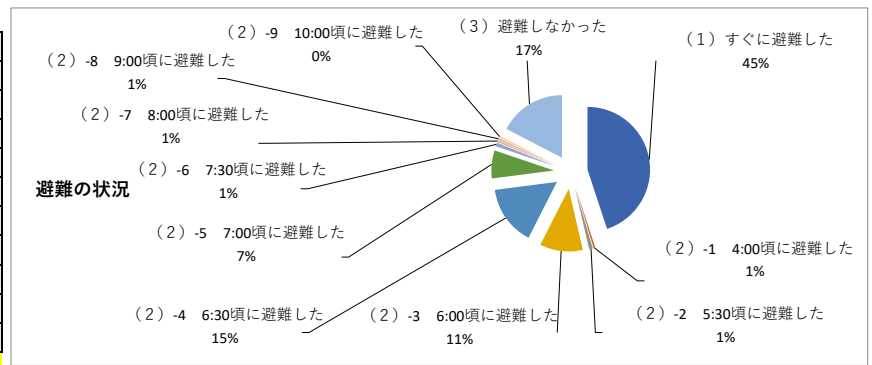
「避難指示」の内容

ダムがこれまでにない放流をする	6
避難指示が出た	49
6:30から放流する	22
川が氾濫する	7
これまでの1.5倍の放流がある	7
ダムが決壊する恐れがある	5
公民館・小中学校へ避難せよ	8
逃げて	8
(合計)	112



避難の状況

(1) すぐに避難した	93
(2) -1 4:00頃に避難した	1
(2) -2 5:30頃に避難した	2
(2) -3 6:00頃に避難した	23
(2) -4 6:30頃に避難した	32
(2) -5 7:00頃に避難した	15
(2) -6 7:30頃に避難した	2
(2) -7 8:00頃に避難した	1
(2) -8 9:00頃に避難した	1
(2) -9 10:00頃に避難した	1
(3) 避難しなかった	36
(合計)	207

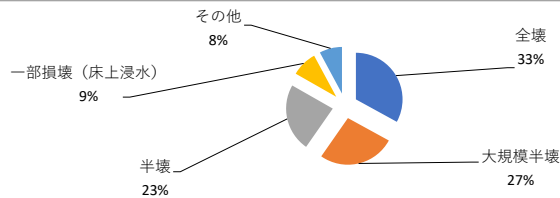


被災の状況

(住宅)

全壊	63
大規模半壊	51
半壊	45
一部損壊 (床上浸水)	17
その他	15
(合計)	191

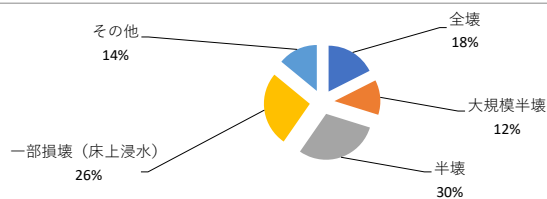
被災の状況 (住宅)



(事業所)

全壊	10
大規模半壊	7
半壊	17
一部損壊 (床上浸水)	15
その他	8
(合計)	57

被災の状況 (事業所)



(住宅と事業所の合計)

248

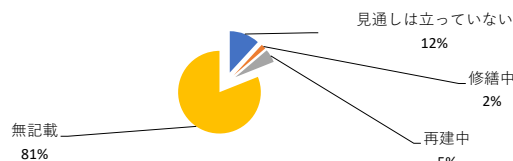
被害金額 (総額)

1879000000 円

再建についての見通し

見通しは立っていない	25
修繕中	4
再建中	11
無記載	171
(合計)	211

再建についての見通し



被災時に感じたこと

寄せられた回答

- なぜもっと早く住民全体に知らせなかったのか。一部の人は知っていたと言う話はおかしい。全てにおいて危機感が足りないと思う。
- 今までダムに守られていたと思っていたが、まさかこんなことになるとは思わなかった。
- 河川の隣に住んでいながら、「自分たちは大丈夫だろう」と認識が甘かった。
- 「これまでの1.5倍の放流」なら大したことないと思った。緊迫感のある避難指示が必要。
- これは人災だ。
- 現実とは思えない、人災以外の何物でもない。
- 何があったのか、ただただ頭を抱えて、全てをなくしたショックが大きい。人災だ。
- どうして早く知らせてくれなかったのか。着の身着のままの避難だった。
- これから先が不安でたまらない。先祖が残してくれたものが一瞬でなくなった。
- 避難時、車ごと流されそうになった。鉄骨の自宅なので3階に逃げた方が良かった。
- 人生の設計が一瞬のうちに崩れた。
- メールでの告知があれば、もう少し早く慌てずに避難できた。
- 70代夫婦、この歳になってこんな目に遭うとはと考えてしまい、夜も眠れない。
- 避難指示の内容に具体性がなかった。
- 避難指示を知る方法をもっと早く、解りやすく緊張感のあるものにするべき。今回の災害では、消防団の呼びかけが一番効果的であったのではないかと。
- 保育所は未明より職員が書類や荷物の整理・搬出をしていた。なんで皆に知らせなかったのか。
- 年配の老夫婦、歩行も困難な中、2階に行くのもどのくらい時間が掛かるか不安だった。
- 数日は呆然自失して片付ける気さえ起こらなかった。
- 災害以降、雨が降ると落ち着かない。近所に笑い声がなくなった。
- なんでこんなことになるの？
- 絶望感のみ。これで終わりかと思った。
- 近所の人から「助けてほしい」と電話があり、迎えに行き車で一緒に避難した。
- 逃げ遅れて2階まで逃げ、さらに水が来て119番に何度も電話したが返事はない。助けは無理と思い死を覚悟した。
- 1人住まいの高齢のお婆ちゃんを父と母と私で助けに行き、父が背負って避難所まで連れて行った。弱い立場の人のことを考えられる世の中に。被災現場を見てただ唖然とした。
- 被災した我が家を見て、自然と涙が出て泣き出した。悲しい悔しい。
- 70代の夫婦、全てを失って再建する力と気力はない。これからどうなるのか、苦悩の日々だ。
- 雨が止んで家に帰り、変わり果てた自分の家や近所の様子を見て、ただただ涙が出て、この先どうしたらいいのか、どうなるのか、元通りになるのか途方に暮れた。ボランティアの方々にはお世話になりました。感謝しています。
- 最初の1週間は断水で泥まみれと汗で生き地獄だった。そうした中、地域の人たちボランティアの人たちに助けられた。
- 寝たきりの人たちや高齢者の人たちが、避難してないので最初は心配した。
- 絶望、悪夢、地獄。
- 屋根の上にいたので、とにかくどうやって生き延びるのか、どこまで水が上がって来るかを考えた。まるで津波の映像と同じで、なぜ自分がこんな目に遭うのだろうかと考えた。
- 市役所の対応が、人(相手)によって違う。ちょっと偉い人には丁寧な対応をしている。差別だ。

ダム運用について言いたいこと

寄せられた回答

- 異常気象が日常的に起きている今、想定外の災害が起こることは当然のことと考え、その想定外に対応できるようにしてほしい。
- 二度と繰り返してはいけない。
- なぜ一気に大量放流したのか。ダムを守るためなら下流の野村の街を沈めても仕方ないと思って行ったのなら、今後もまた同じことが起こる。これでは安心して生活をできないので、野村ダム・鹿野川ダムに大雨が降りそうときは空っぽにしてほしい。
- 7月7日のダム操作・判断は真夜中から行われたことになるが、何人で操作したのか、操作した人は転勤族の新人ではなかったのか、居眠り操作ではなかったのか、検証してほしい。
- なぜ事前に放流をして水を減らさなかったのか。気象庁が2日前に記者会見をしてまで大雨降水注意報を発令していたのに、何の備えもしていなかったダムの責任は大きい。無能な管理者はいらない。国交省は責任を取れ。
- 住人の命を脅かすダムは無くしてほしい、ダムが決壊したらと思うと野村に住むことを躊躇してしまう。
- 想定外の雨にもかかわらず、過去のマニュアル通りに放流したのが間違いだったと思う。想定外の雨量なら想定外の対応が必要と思う。
- 「操作規則を守っていれば、たとえ被害が発生しても責任はない。」という感じを強く受ける。
- 想定外の事態に柔軟に対応できるような操作規則にできないものなのか。また市へ情報提供する際、危険性が判っていたなら、もっと具体的に伝えて欲しかった。
- 地球温暖化が進行している現在、降水量・時間雨量も多いのもっと早めに事前放流してほしい。
- 詳しいことはわからないが、油断と管理のミスであるかと思う。雨が長く続いていたので心配だったが、仕事に対してもっと真剣に油断なく取り組んでほしい。
- 雨の予想でこんなに6倍も放流しなくてもいい方法があったと思う。何日も雨マークが続いていたのでダムの水は事前に減らせていたはず。
- いい加減にもほどがある。ダム職員が、どうしていか分からないので、適当に操作したとしか思えない。
- 今度のことは人災だ。自分の頭で考えて行動すべき。
- もっと早くから多くの水を放流していたら、このような被害は出なかった。
- ピンポイントで雨量予測ができる世の中だから、ダムによる人災だ。
- 水の量が一気に増え一気に減ったということは、操作を上手くすればあのような大洪水にはならなかった。ダムの操作ミスによる人災だ。
- ダムは野村に必要な。無くすことも検討すべき。
- マニュアルを根本的に見直すこと。二度とこのような人災を起こしてはならない、絶対に。
- 利水権者の権利擁護だけでなく、地元の生命・財産を第一に考えてほしい。
- あれだけの量を放流して、かなりの被害が出ることは分かっていたはず、このままでは許されない。亡くなった方があまりにもお気の毒すぎる。
- 亡くなった方もいる、その重みを充分感じて責任を取ってほしい。
- 経験のない豪雨とダムは言うが、どんな豪雨にも対応できるよう、越流も含めて対応するのがダム職員の務め。
- ダムの放送やサイレン全く聞こえなかった。伝わらなければ周知したことにはならない。周知規則違反だ。
- 想定外の対応訓練などを行っていなかったのだろうか。
- 放流量と水害のシュミレーションができていなかった。
- 国交省と西予市は尊い5人の人命を奪い、多くの市民の財産をなくした責任を必ず取らなければならない。
- マニュアル通りのダム運用なんてロボットがしてるのと同じ。人の心がないダム管理は有り得ない。
- 想定外の事態に対応する操作は他のダムではできていた事例がある。発達した気象予報や経験に基づきそれが可能だったはず。ダム管理の失敗以外の何物でもない。
- 人命第一の放流をなぜできないのか。どのくらいの放流量でどのくらい氾濫するの分かっていたと思う。
- ダムに守られていると思っていたが、ダムに町が壊された。
- 6日にダム管理所に何度も大丈夫かと電話で聞いたが絶対に大丈夫だとの返事だった。大きな責任がある、責任を取れ。
- 電光掲示板が点いていなかった、管理不足だ。大きなミスだ。
- ダム管理のプロとしての自覚を持ってほしい。間違いは間違いとして認めるべきだ。
- 人命や財産など今まで築いてきたものがダムに全て奪われた。命を返せ。財産を返せ。生活を返せ。思い出を返せ。こんなダムはいらない。国交省は責任とれ。
- 今回の災害は自然災害ではなく、ダムと行政による人災です。責任を取って全て元に戻してください。
- 4日間も雨が降り続いたのに放流は、その間1回のみ。素人の私でも水量はかなりになり大丈夫かと心配してたのに、そのことになぜ頭が回らないのか。しとしと降る雨は一旦土に染み込み、しばらくして一気に流れ込む水量として現れるまでに、時間が掛かるのが解っているのだろうか。ただ数値だけ見て判断していたのでは間に合わなかったり、判断ミスも起こるのではないか。

西予市の対応について言いたいこと

寄せられた回答

- 市民の命と財産を守るはずの自治体がこのような人災を起こすとは。
- 夜中でも人命に関わることで知らせてほしかった。
- 7日に野村支所で市民に知らせる時間について激論が交わされたという報道があった。その内容と人物・職名を公表すること。
- こんなに大きな災害だったのに、なぜサイレンを鳴らし町中を走り回らなかったのか。防災行政無線も同じ。放送し続けていれば被害は少なかったはず。失態が多すぎ。この市は大丈夫か。
- なぜ早く市民に知らせなかったのか。知っていれば大事なものだけでも持ち出せたのに、自動車・お金・思い出を全て失った。
- なぜ5日から避難所を作り、危険性を住民に知らせなかったのか。7日2時半早くに知っている人がいて、なぜ皆に知らせなかったのか。
- 夜中でも知らせて欲しかった。もう少し時間があれば車とか、現金その他大切なものを少しでも持ち出せていたのにとすると悔しいし、腹が立つ。行政の職務怠慢だ。責任は必ず取ってもらおう。
- 市の職員は自分の身内には早く1時半頃に知らせており、市民には5時過ぎにしか知らせなかったことは多いに不満、大問題だ。同じ時間に市民に知らせていればここまで大災害にはならなかった。
- 災害による地域経済の落ち込みに対し、市は事業者に最大限の支援を。
- ダムから放流の連絡があった時点で、市民に知らせていけば死者が出ることはなかったと思う。このことを行政は解っているのか。責任をどう取るのか。
- 知らせてくれないから、知らない。書類や手続について優しく教えてほしい。全てを無くして健康も無くして病院通い、毎日泣いている。元に戻してほしい。
- 市の職員は「初めてのことでだから」と言っていたけど、これで西予市野村町大丈夫かな…と思った。
- 避難準備、勧告、避難指示と段階を踏んで住民に周知すること。避難の放送は、火災のときのような大音量でサイレンを鳴らすなどしてほしい。
- 災害の2日も前に警報が出されていたのであれば、具体的な言葉での避難説明をしてほしかった。放流開始1時間前の川沿いだけの消防団による避難指示だけでは、何が起きているのか、情報が入らなかった。
- あのような放送では、さっぱり重大さが伝わらない。
- 全国各地で災害が起きている。このような災害を想定して訓練や対策をしていたはずだが、市の危機管理意識の低さに呆れる。
- 野村ダムは南予のみかんに必要かもしれないが、下流に住んでいる住民の生活が一瞬で奪われた。今後同じことが絶対ないとは言えない。今後同じ雨が降ったときに同じことにならないようにすること。
- 市役所に行ったとき、あちこちへ行かされてウロウロするばかりでしたが、対応は丁寧でした。
- ハザードマップの未策定や危機管理に際しての対応など、市長と幹部職員の責任は大きい。どのような責任を取り、補償をどうするかを早急に公表すること。
- 6日の時点、せめてダムからの連絡が来た時点で知らせてくれればもう少し荷物を持ち出せたが、何も持ち出せなかった。
- 被害認定の差が曖昧、切り捨てでなく救済の対応をすべきだと思う。
- 避難所においては大変お世話になりました。原因究明と検証をお願いします。
- 消防団の方々には避難の呼びかけから汚泥や瓦礫の片付けなど感謝しています。
- 消防団が今回被災前後の重労働を大変頑張ってくれたことに感謝しています。
- ダムからの連絡をもっと早く住民に伝えられなかったのか。対応の遅さが大災害をもたらした。
- 対応が遅い、補助事業もハードルが高い、あらゆることで対応が遅い。初めてのことは解るがもっとスピード感を持って。
- 市は危機意識がなさすぎる。
- ハザードマップの作成や浸水区域の想定など、やるべきことをしてないことが多過ぎる。
- ダム管理所より異常洪水時防災操作を行う旨の連絡が入った時点で避難指示を出すべきだった。避難指示が遅れたことにより尊い5人の人命と、多くの市民の財産を失ったことは紛れもないダムと市の責任。
- 夜中のうちに避難指示があれば大事なものを車に積んだり準備する間があったのに、何も持ち出せなかったこの悔しさを市長は解るのか。
- 避難指示が遅過ぎ、市長判断も甘過ぎる。夜間で暗いからという理由で避難指示が遅れるような町には住めない。
- 義援金・寄付金・補助金などがたくさんあるとニュースでは報じられているが、被災者には回らないのか。明らかにしてください。
- 少しでも多く支援してください。放送も分からなかった。サイレンが鳴れば分かったのに、危機感がない。
- 避難指示は「命に関わる水量が来る、直ちに逃げなさい。」という放送をすべきだった。
- 浄化槽が壊れ、林業センターに200万掛かると言いに行ったが、名前も住所も控えず「設備は含まれません。」と言われた。2度行き写真も何十枚持って行ったが使われたのは数枚だけ、設備の欄があって点数を入れる所があるのを知って行っているのに、その対応はおかしいと思うし、一度は全てのことを取り上げて査定すべきではないのか。そもそもダムの放流が原因で被災していることを職員は認識しているのかと感じた。
- 市は野村ダムがどれだけ放流したらどれだけ浸水するのかをダム管理所から聞いていなかったということだが、本来知っていて当然のことではないか。また、なぜ、2:30のダム管理所からのホットライン直後に市民へ知らせなかったのか。「暗いから」は理由にならない。知っていれば大切なものだけでも助かったはず。人の命や財産がなくなった。私は、健康を無くした。思い出の物も無くした。これからの老後のお金を無くした。大切な物全てを無くした。これでは安心して住み続けることができず、毎日眠れない。

皆さまの声が大きき力になります。声をお寄せください！



野村の未来を守る会

〒797-1212 西予市野村町野村6号23番地

E-mail : nomuradamkensyou@gmail.com

URL : <https://nomuranomirai.jimdofree.com>